

「JENESYS2024」日本大学生訪中団第1陣の記録

1. プログラム概要

【目的】本事業は、中国日本友好協会の招聘に応じて大学生・大学院生を中国に派遣し、「中国とのふれあい」をテーマに、大学訪問やテーマに関する視察・交流等を通じて同世代交流を行うことで、両国の若者の間に友情を醸成し、相互理解の更なる深化を目的として実施しました。

【参加者】日本の大学生・大学院生等 59名

【訪問地】中国 北京市、山西省

【日程】

■ プレプログラム（2回）

2024年6月11日（火） 第1回オンライン事前オリエンテーション

2024年7月18日（木） 第2回オンライン事前オリエンテーション

（外務省講演「最近の日中関係と中国情勢」、注意事項等説明）

■ 派遣プログラム

2024年7月28日（日）～8月3日（土）6泊7日

7月28日（日）北京首都国際空港より中国入国

【視察】万里の長城（居庸関）

7月29日（月）【講義聴講】「中日映画交流」

【学校交流】北京体育大学

7月30日（火）【視察】松下記念館、古城壁

山西省へ移動

7月31日（水）【視察】大同市唐家堡村産業・文化施設視察、雲岡石窟、華嚴寺、九龍壁

8月1日（木）【視察】応県木塔

【学校交流】太原科技大学

8月2日（金）【視察】山西省博物館

【報告会】訪中成果・帰国後のアクション・プラン発表

北京市へ移動

8月3日（土）北京首都国際空港より中国出国

2. 記録写真



2024 年 7 月 29 日（月）【講義聴講】
「中日映画交流」



2024 年 7 月 29 日（月）【学校交流】
北京体育大学



2024 年 7 月 30 日（火）【視察】松下記念館



2024 年 7 月 31 日（水）【視察】
大同市唐家堡村産業・文化施設視察



2024 年 7 月 31 日（水）【視察】雲岡石窟



2024 年 8 月 1 日（木）【学校交流】
太原科技大学

3. 参加者の感想（抜粋）

◆私が視察・訪問先での交流に関する最大の収穫は「日中関係は民間レベルで改善の余地がまだまだある」と感じたことだ。中日友好協会の方々をはじめとして、北京体育大学の学生、太原科技大学の学生が私たちに対して親身に接してくださり、今後日中友好の懸け橋となれるような人々がたくさんいることを認知できた。訪中国の大きな目的として、「メディアで作られた印象ではなく自分の目で日中関係がいかなるものかを確認する」ということが挙げられていたと思う。その意味では前述したような人々が中国に多くいることを知り、訪中国としての大きな成果があったと感じている。私は来年から鉄鋼の専門商社で働くため、中国とは経済面で切っても切り離せない関係であることは重々理解している。しかし、経済的な関係ではなく、少しでも多くの国民がお互いの国への偏見をなくし両国の交流がより深まっていくことが真の友好であると考え、今回見聞きしたことを周囲の人間にしっかりと伝えていきたい。

◆現地の人たちのあたたかい人柄を知ることができました。具体的には、同行のガイドさん、視察先の施設の担当者さん、現地大学の学生たち、食事をご用意してくださったご担当の方々です。特に、行程の序盤において、北京体育大学の学生から「中国人には遠慮はいらないよ！特に学生には、どんどん聞きたいことを聞いて」と言われたことで、その後の滞在期間では上述した方たちと多様な形で交流することができました。交流では良い意味でのカルチャーショックをたくさん経験しましたが、そのなかでも特に、現地の方々の優しい部分、あたたかい部分、ホスピタリティの高さが、すごく印象に残りました。一番わかりやすいのは、料理店や販売店などのお店の方々です。私たちが立場としてはお客にあたるというのも理由ではあったかとは思いますが、すごく小さな点から言えば、お茶は飲み干す前に注ぎに来てくださるし、テーブルの諸不備等にはすぐに対応してくださるし、パフォーマンス的な料理の出し方をされることもありましたし、翻訳機を使った対応を嫌がられることもなかったし、中国語が通じないことがわかれば電卓とジェスチャーで対応してくださったし、など、など、どんどん思い出します。今回の旅では、色んな形あるモノにも触れましたが、現地の方のあたたかい心という、形のないモノにも触れることができたことが、印象に残っています。

◆中国の歴史ある各所を巡り、古くからの中国の形や多くの中国人観光客もガイドの音声を聞いて熱心に回っている様子を見て、古き良き中国の姿の重要さを再認識しました。また、大学生との交流の中で、日本のアニメやゲーム、小説などの文化について日本人よりも詳しく知ることが印象的でした。そのような文化から日本語を学習してくれているように、私もより中国の文化を吸収しながら中国語を学んでいきたいと思いました。そして、農村の近代化事業についての視察では、農業から農村を発展させようとする姿勢や、スローガンを目にして党の方針を鑑みることができ、印象に残りました。全体を通して、普段の観光だけでは見ることはできないようなところや交流ができたため、多くの気づきを糧にできました。

◆現地のさまざまな学生と交流することで、日本との相互理解が重要であることを再確認しました。文化的な違いを尊重しつつ、互いを理解し合おうという姿勢が、今後の日中関係にとって大切であると強く感じました。

はじめ私は、国が違うということだけで、言語や文化の違いから、壁を感じていました。しかし、交流

を重ねていくにつれて、中国の方のフレンドリーで気さくな国民性を感じることができました。とても温かく私たちを迎え入れてくださり、すぐに親しみを持って接してくれる姿勢に感銘を受けました。

このような経験から、相互理解が日中関係においていかに重要かを強く感じました。互いを理解し合おうとする姿勢が、これからの日中関係をさらに良いものになっていくのではないのでしょうか。

◆日本と中国は似ているようで異なる点がたくさんあると感じた。私たちや中国に行ったことのない人たちは心のどこかで「日本と中国は漢字や強い繋がりからどこか似ているのではないか」と思っていると思う。もちろん似ている部分もあるが、似ている、同じだと思えばと差異に直面したときに中国に対して良くない印象を抱くのではないかと思う。今回の訪中を通して中国は日本と異なる文化やおおらかさを持っていると感じたし、その差異を楽しむことができた。中国に深い魅力を感じることができた。今回気づいた中国の魅力(人のあたたかさや歴史的奥深さなど)を自分の同級生や家族に発信し、たくさんの人に中国を知るきっかけを作っていきたいと思う。自分自身もまた中国を訪れてさらなる魅力を知っていきたい。

4. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

 いいね! : kymmiyaa, samitt_tt, 他12人 mck_0_0_ 2024.7.28 ~ 2024.8.3 中国 🇨🇳 中国の方々がみんな優しくて義理堅くてとてもあたたかい気持ちになりました 🍵 団員の間も仲良くしてくれてありがとう！ みんなの中国語学習にける思いや将来の目標などを聞いて私も刺激を受けました。 また日本でご飯でも行きましょう！！絶対！！ 間違いなく人生で1番充実していて幸せな1週間だったと思う 🌟 関わってくださった日中両国の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。 吃水不忘挖井人。	 いいね! : ni_koto JENESYS2024 日本大学生訪中団第1陣の一員として、中国を訪問してまいりました！ 今回の経験は私にとって大変有意義なものとなりました。 この企画に関わってくださった全ての方に感謝いたします。
2024 年 8 月 6 日（団員の SNS）	2024 年 8 月 8 日（団員の SNS）



2024 年 8 月 8 日（団員の SNS）



2024 年 8 月 9 日（団員の SNS）

5. 報告会での訪中成果とアクション・プラン発表

	
【訪中中の学び】 北京体育大学での武術体験や太原科技大学での学生との交流など、短い時間でしたがとても有意義で楽しい時間でした。また同じく中国に興味をもつ日本の学生との出会いも貴重なものでした。今回の訪中団での体験と出会いが私の宝物になりました。 【アクション・プラン】 中国の歴史の研究を行い、歴史を通じて日中の協力体制を強めていきます。中国語を勉強してより円滑な人間関係を作り、相互の友好を深めます。	【訪中中の学び】 中国の歴史や文化に触れ、北京体育大学や太原科技大学の学生との交流、さらには行く先々での温かい歓迎によって中国の魅力をたくさん知ることができました。 【アクション・プラン】 将来の目標のため、大学院に進学し、卒業後は実務経験を積んでいく必要がありますが、そこで留学や実務経験を積む時、中国に戻って来ます。私のキャリアが中国と共にあったらと思います。

実施団体名：（公財）日中友好会館